

西箕輪公民館内
ふるさと通信編集局
電話 0265-72-2319
FAX 0265-74-1263



西 箕 輪



ふるさと通信

ふるさと通信 第148号
令和7年（2025年）
2月 1日 発行

戦後 80 年を迎えるにあたりその1（年間通して記載していく予定です）

今年は、第二次大戦終結から80年を迎える年です。総務省の調査によれば、総人口に占める戦後生まれの世代の割合が9割に迫ろうとしているとのことから、戦前、戦中生まれの方々の割合が1割に減少しつつあるということです。私は昭和32年の生まれですが、もちろん戦争は知りません。ですが、ちょっと年齢の上の方にお話を聞くと、戦後に生まれ育ったとは言え、戦地から帰って来られた方が身近にたくさんおいでになったと聞きます。戦中ではありませんが、戦争後の生活を知っている皆さんです。しかし、時がたつにつれ、戦中戦後を含め、戦争のことを体験しておられる方が少なくなっていく今、私たちにできることは多くはないのかもしれませんが、ご自身の体験を思い起こしたり、若い世代に話をしてみたりするなどして、おひとりお一人が、平和や戦争を考えるきっかけになる年になればと思います。以下「西箕輪—ふるさとの話—」「西箕輪学校百年誌」の二つの歴史誌からの抜粋です。

【出征】西箕輪からも出征兵士が出立していった。出征兵士の見送りは区民全員で行われ、早朝に神社前に集まり、区長から出征兵士の紹介が行われた。出征兵士のあいさつでは「男子の本懐」「滅私奉公」とか自分の身を国に捧げることが当然のことに言われた。

【村葬】激戦により戦死者の遺骨が白木の箱に納められ、無言の帰還風景が人々の涙を誘った。西箕輪でも初めて与地の方が戦死され村葬が行われた。

【勤労奉仕】農村地帯の働き盛りの男子が、ほとんど戦争に召集されてしまった。その対策として男女とも14歳以上40歳（女子は25歳）までの勤労奉仕が義務付けられた。中等学校や青年学校には勤労奉仕隊が編成され、出征兵士の家庭へ農業の手伝いに配置された。女子生徒は、軍の衣服や紡績の仕事に従事した。その後、伊那市の六道原に訓練飛行場が作られることになり、学校や各家庭に作業要員が割り当てられ、農家の稼働力は一層悪くなった。

【金属供出】物資不足は慢性的となり、あらゆるものが足りなくなった。そのうえ国の供出指示に従いどの家でも不自由を我慢して、供出の責務を果たすように努力した。供出物資は兵器や弾丸を作るための金属で、主としてヤカンや鍋・釜・それに土蔵の明かり窓の鉄格子や橋の欄干の鉄棒にまでおよんだ。寺の場合は香炉、鈴まで取り外された。

～戦後80年にかかわる公民館講座として、来る2月19日の「人権講座」では、「満蒙開拓団」のお話を箕輪博物館館長さんからお聞きする予定です。西箕輪誌によると「富貴原郷開拓団」として、西箕輪からも14戸58人の方が満州の地に渡ったそうです。この事実に向かい、学びたいと思います。大勢の方にご参加いただければと思います。～（公民館 千賀）



第2回フォトコンテストから

西箕輪の良さを発見し、その良さを共有できることを願って実施した「第2回フォトコンテスト」。応募総数は59点（うち子ども39点、未就学児2点）でした。11月の文化祭では、これら作品を見ていただき、好きな作品やいいなあと思う作品に投票していただきました。小さな子から大人までそれぞれの人の目で見えた西箕輪の「風景」「歴史」「人物」の良さを撮影した写真はどの作品も力作ぞろいで、選ぶのに苦労されたことと思います。本当に僅差でしたが、以下の作品が多く票を獲得されましたので、ここに紹介させていただきます（タイトルのみ）。応募された皆さん、投票してくださった皆さん、ありがとうございました！

＜一般の部＞

風景 「西山山麓を見下ろす紫金山・アトラス彗星（撮影場所 羽広）」

（次点）「初飛来のアサギマダラ（撮影場所 中条）」

歴史 「小さな願いがかないますように（上戸）」 （次点）「昔ながらの正油づくり（上戸）」

人物 「手ほどき（大萱）」 （次点）「ひまわり畑の三姉妹（上戸）」

＜小学生の部＞

「ブランコと鶴の雲（大萱）」 （次点）「秋がやってきた（大萱）」

＜未就学児の部＞

「私のあかいくつ（中条）」 （次点）「ともだち（上戸）」

＜応募月＞ 2月から12月まで 冬・春・夏・秋と、幅広い季節の作品が出展されました。

＜撮影地＞ 西箕輪各地から撮影されました。小学校と上戸が多かったです。

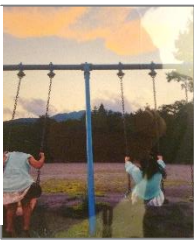
風景の部「西山山麓を・・・」



人物の部「手ほどき」



小学生
ブランコ・・・



歴史の部「小さな願い・・・」



伊那インター工業団地について紹介します

大泉新田、吹上及び羽広地籍にまたがって立地している伊那インター工業団地は、面積、立地企業数ともに伊那市随一の規模を誇る工業団地です。中央自動車道の開通をきっかけに、交通の利便性を活かし、農業に代わる産業の発展を目指して県営の工業団地として整備されたのがはじまりです。昭和59年度から長野県が整備し、平成2年に管理が伊那市に移管されています。

中央自動車道伊那インターチェンジからわずか5分という地の利と、周辺に人家のない閑静な環境、南アルプス全体を見渡せる眺望の良さなどから、立地した企業からの評価も高い工業用地として成長してきました。現在、約62ヘクタールの用地に18社が操業しており、5社が操業に向けて工場等を計画中です。立地企業名と主な製品は、次の一覧表のとおりです。（令和6年12月現在）（次号に続く）（支所 山口）



伊那インター工業団地立地企業概要

企 業 名	主 要 製 品 名	本社所在地
サン工業株式会社	電気メッキ (金属表面処理全般)	伊那市西箕輪
株式会社サカイヤ	自動車各種プラスチック、 表示パネル	埼玉県川越市
KOA株式会社西山工場	電子部品(抵抗器他)	箕輪町
株式会社イナリサーチ	医薬品等の非臨床試験受託	伊那市西箕輪

企 業 名	主 要 製 品 名	本社所在地
ニッパツフレックス株式会社	自動車用部品、 金属ばね及び一般産業機器用品	伊那市西箕輪
MINOエナジー株式会社	メガソーラー発電、 建材製品販売	伊那市西箕輪
東京パック株式会社	業務用手袋製造	東京都調布市
米玉堂食品株式会社伊那工場	ビスケット等の焼菓子製造	辰野町

獅子舞・「とんと焼き」 せいの神の行事を =子どもも大人も一緒になって



1月12日の羽広の獅子舞では、小学生の兄弟が大活躍でした。仲仙寺での舞い合わせの前に行われた羽広神社での悪魔払いでは、兄が叩く太鼓に合わせて弟が雄獅子の頭を務めました。

羽広地区の南と北に分かれて舞う戸毎舞（こごとまい）では、道祖神を含めて15軒ほどを舞った雄獅子の太鼓のほとんどを小学生が叩いて五穀豊穡を願いました。

羽広の獅子舞は安泰だと感じた一日でした。



さぁ いよいよとんと焼き

正月明けの大事な行事であるとんと焼きが、各地で行われました。12日には大萱、19日には、せいの神が羽広とみはらしファームの合同で実施されました。

去年は、雨が降って遅れたりしましたが、今年は快晴の中で実施できました。大萱では、自分たちで書いた習字や家で飾った飾り物、ダルマやしめ飾り等々を持ち寄り、積み上げました。その山に、係の人が火をつけてさあはじまりです。子どもたちが燃え盛る炎の周囲を走り回り楽しそうでした。



羽広のせいの神です。せいの神とは、日本の各地で行われる小正月の行事の火祭りのことです。場所によって、呼び名も異なり「とんと焼き」「三九郎」などと呼ばれています。みはらしファームでは、歳神様（さいのかみさま）がなまつの「せいの神」の呼び名で伝えられています。歳神様、としがみさまとも言いますが、元旦の日の出と一緒に山から降りて来ます。門松やしめ飾りは家への入り口を間違わない様にする為、鏡餅は歳神様がそこをよりどころとして帰る日までいる場所となります。歳神様はとんと焼きの煙に乗って天へと帰って行くと言われています。この日は、お正月に飾った地域の門松・しめ飾り・だるま・お守り・はま矢等と共に、みはらしファームで正月を飾ったしめ縄、願い事が書かれたメッセージ等を焚き上げ、歳神様を天へとお見送りします。

その火にあたり、餅などを焼いて食べれば無病息災。病気にかからず元気に過ごせると言い伝えられています。今年のせいの神は、長さ6mの3本の檜を土台にして、真ん中に長さ14mの竹を立て、みはらしファームで伐採された木々で中を固め、更にだるまをつけた12本の竹で囲い、正月飾りなどで飾り付けして出来上がっています。

そこに、子どもたちが持ち寄ったものを積み重ねます。いよいよ点火。すごい勢いで燃え上がりました。みんなの注目は吊るされているだるまがどうなるかです。だるまも含め、勢いよく燃え上がる炎にみんな見入り、伝統とともに、せいの神を楽しむ子どもたちでした。



令和6年度 各区からの西箕輪交通安全協会への要望事項

事業採択され工事完了した内容です

区	工事内容	事業主体
大泉新田	丸型カーブミラー1面更新 1箇所	西箕輪安協
羽広	丸型カーブミラー1面新設 1箇所	西箕輪安協
	丸型交差点ミラー更新 1箇所	西箕輪安協
	角型交差点ミラー1面更新 1箇所	伊那市安協
	市道センターライン、道路標示補修 1箇所	伊那市建設課
上戸・梨の木	角型交差点ミラー2面更新 1箇所	西箕輪安協
	角型交差点ミラー1面更新 1箇所	伊那市安協
	丸型カーブミラー撤去 1箇所	西箕輪安協
中条	角型交差点ミラー1面更新 1箇所	伊那市安協
大萱	丸型交差点ミラー1面新設 2箇所	西箕輪安協
	角型交差点ミラー2面新設 1箇所	西箕輪安協
	角型交差点ミラー2面更新 1箇所	伊那市安協
	丸型ミラー1面、角型ミラー1面撤去 2箇所	西箕輪安協

15箇所

西箕輪安協	10箇所	事業費1,326,600円（消費税込）
伊那市安協	4箇所	
伊那市建設課	1箇所	

以下○印は、本年度で要望しましたが、採択されませんでした。
※次年度も継続要望をします。

○大泉新田から

大萱養護学校西市道0120号（大萱・大泉新田線）
伊那国際ゴルフ場～大萱交差点までの市道にセンターラインを設置
約500m “伊那市建設課へ要望”

○上戸、梨の木から

“梨の木の県道与地・辰野線と市道0234号の交差点市道への止まれの標識と道路標示の設置要望 ※市道から県道の見通しが悪く、県道は通学路でもあり危険” “警察署へ要望（市安協経由）”

○与地から

県道与地・辰野線グリーンベルトの設置要望 約800m
“県へ要望（市安協経由）”
(安協 唐澤)



-地域の方が作成された地域の地図や資料をお持ちください！-

公民館の玄関を入った正面の棚に「経ヶ岳登山地図」「羽広道を探る」「新山地区概略図」の3つのきれいでかつ正確・詳細な地図が並べられています。

いずれも里山ハイキングの講師をご依頼した宮坂七郎さんが作成されたもので、地域の方にも利用していただければと、ご好意で置かせていただいているものです。地図は、大人気！！で、置いてあると、すぐになくなってしまいます。

この3つの地図は1月いっぱい、いったん終了し、2月からは「◇天竜川に架かる橋」「◇木曽山用水」「◇高遠藩の歴史概略」の3つの資料が置かれます。いずれも宮坂さんがこれまでのご経験をもとにご自身で調べ、まとめられた貴重な資料です。ご利用になりたい方は、どうぞお持ちください。
(公民館 大井)



現在置かれている手作り地図